

## 令和 7 年度第 1 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）

開催日時 令和 7 年 4 月 23 日（水曜日）午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分

開催場所 立川市女性総合センター・アイム 第 2 学習室

出席者 [委 員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大槇 正則 委員  
 柴 香里 委員 梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員  
 難波 敦子 委員 宮本 直樹 委員 来住野 清子 委員  
 岩元 喜代子 委員 杉浦 早苗 委員

[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 鈴木 峰宏

同 管理係長 加藤 暁子

同 生涯学習係長 松田 充代

同 市民交流大学係長 牧野 三枝子

同 管理係員 中山 琴音（記）

傍聴 0 名

## 次第

## 1. 開会

## 2. 会長挨拶

## 3. 報告事項

(1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について

(2) 令和 7 年度生涯学習推進審議会委員・社会教育委員の年間スケジュールについて

## 4. 協議事項

(1) 令和 6 年度第 8 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について

(2) 立川市第 7 次生涯学習推進計画素案について

(3) 令和 7 年度の協議事項について

## 5. その他

(1) 令和 7 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

(2) 令和 7 年（2025 年）第 1 回立川市議会定例会報告

配付資料 1. 令和 6 年度第 4 回たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要

2. 年間スケジュール表

3. 令和 6 年度第 8 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）

4. 立川市第 7 次生涯学習推進計画素案

5. 令和 7 年（2025 年）第 1 回立川市議会定例会報告

## 会議内容

## 1. 開会

## 2. 会長挨拶

## 3. 報告事項

(1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について

（会 長）A 委員より説明お願いいたします。

（A 委員）資料 1 をご覧ください。令和 6 年度第 4 回のたちかわ市民交流大学企画運営委員会の議事概要でございます。まず各委員から状況を報告していただきました。7 ページの (2) の事務局からの報告で生涯審の議事内容が報告されています。7 ペー

ジ目の一番下 5. 議事で令和 6 年度の進捗状況の報告を行っております。9 ページ目の(2)では令和 7 年度の団体企画型講座の募集開始について話がありました。現在無事に応募があり、実施する講座が決定しました。1 枚めくっていただき 10 ページからは「立川市第 7 次生涯学習推進計画骨子案について」報告いただき、意見交換を行いました。こちらについては会議録に詳細に書いてありますので、読んでいただければと思います。

(会 長) ありがとうございます。何かご質問等ございますでしょうか。(なし)

(2) 令和 6 年度生涯学習推進審議会委員・社会教育委員の年間スケジュールについて

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 資料 2 をご覧ください。生涯審と社会教育委員関連の年間スケ

ジュール表になっております。左側が生涯審、右側が社会教育委員関連です。生涯審の日程については事前にお伝えしている通りです。社会教育委員関連については 4 月 19 日(土)に定期総会がございました。ご出席いただいた委員の皆様ありがとうございました。7 月に理事会がございます。今期の会長市が小金井市になりますので、基本的に小金井市が開催地になるかと思います。10 月頃にブロック研修会が国分寺市で行われる予定なので、案内がきましたら、周知させていただきます。10 月 29 日から 31 日に岩手県で全国大会が、11 月 20 日、21 日に神奈川県で関東大会が行われます。こちら案内がきたらお知らせさせていただきます。11 月に中学生の主張大会の個人審査員と団体審査員の案内が届くかと思うので、審査員をご依頼させていただきます。12 月に交流大会、研修会、2 月に 2 回目の理事会がございますので、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

(会 長) ありがとうございます。何かご質問ございますでしょうか。(なし)

#### 4. 協議事項

(1) 令和 6 年度第 8 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 令和 6 年度第 8 回立川市生涯学習推進審議会会議録について事前にご確認をお願いしており、修正意見はございませんでした。本日他にご意見がないようでしたらご承認頂けたということで、ホームページに公開させていただきます。

(会 長) ありがとうございます。何かご修正等ございますでしょうか。(なし)

(2) 立川市第 7 次生涯学習推進計画素案について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 資料 3 です。こちらは立川市第 7 次生涯学習推進計画の原案の案になります。前回の審議会でご指摘頂いた事項については、できるだけ取り込むかたちで修正しました。主に大きく付け加えたところは、20 ページになります。取組事項の表や事業について、いきなり〇〇事業と書かれていてもどのような事業かわからないとご指摘を頂いたので、生涯学習推進センターで取り組んでいる事業の説明と取組事項の表の見方について追加で記載しました。また、写真やキャプションも新たに入れ込んでおります。

組織改正に伴い、46 ページの生涯学習推進本部の組織名が以前と変わっているなど、時点更新をしているところがございます。ご指摘頂きましたグラフの色につきましても、4 ページ目からのアンケートのまとめと後ろの方にあるアンケート結果のグラフの色に相違がありましたので、色を合わせました。あとは表がページを跨がないように体裁を整えております。前回いただいた意見を入れ込めるところは入れ込ませていただきましたが、プロジェクトの概念について図示することはかなり難しく、21 ページの事業名欄に文字で書き込みましたので、こちらでご容赦頂ければと思います。また、4 月 1 日から 21 日までパブリックコメントを募集しておりました。4 月 5 日に市役所で初の試みとして個別計画 EXPO という催しを行い、計画の内容をパネルに貼り、来てくださった方に説明を行いました。来てくださった委員の皆様ありがとうございました。パブリックコメントの締め切りは 4 月 21 日までで、4 件のご意見を頂きました。今後、頂いたご意見について市としての回答を公表することになっております。

変更点のみの説明になりますが、以上です。

(会 長) ありがとうございます。委員の皆様から何かご質問等ございますでしょうか。

(B 委員) マンションの住人の方が地域イベントに参加する機会が少ないという話について、自治会の中でも自治連の中でもマンションとの共有体制がとれない、防災関係等地域課題の解決が進まないと話がでています。イベントをアプローチするツールとしてきらり・たちかわを掲示板などに掲示したいが、冊子なので、貼りづらいなと思っています。掲示できれば課題解決に繋がるのではないかと考えます。

(会 長) ありがとうございます。次の議題で今年度議論するテーマ出しをする予定ですが、この計画を検討するときにも様々な方に関わってもらうことに向けての広報という話も出てきていたので、パブコメや B 委員のご意見も貴重なご意見だと思いました。ほかに何かございますでしょうか。

(C 委員) 20～21 ページに事業の概要をまとめていただいたことで、わかりやすくなりました。ありがとうございます。

(会 長) 20～21 ページの表を作成してもらったことで、市民の皆様も読みやすくなったと思います。ありがとうございます。ほかに何かありますでしょうか。

(副会長) 35 ページの「文化財の保護と活用」のところで、答申では強く主張し、立川は特殊な町で、軍もあるので平和についてのなんらかの施設を作ってくださいと市長に伝えました。今期は予算に盛りこむことは出来ないと思いますが、次の期に必ず歴史民俗資料館をなんとかするということが起こるはずなので、その際は複合施設にして、平和についての一節を是非盛り込んでもらいたいと思います。人権についてパブコメがありましたが、どの人も生涯学習に関われるという基本的な権利を主張しようとうたっているが、全体的にみると人権のことをうたっているのは 34 ページの「現代的課題をテーマとする講座の実施」の部分のみで、もう少し人権について触れてもいいのかなという印象を受けました。今更直すことは難しいと思いますが、そこが気になりました。

(会 長) ありがとうございます。答申は答申、計画は計画なのですべてが反映されるわけではないですが、こうやって形になると次に向けて課題が見えてくると思いま

す。次につながるといいなと思います。ほかはいかがでしょうか。(なし)

では、また適宜会議内で進捗の報告を頂けるとしますので、完成して市民の方に読んでいただけることを楽しみにしたいと思います。

(3) 令和 7 年度の協議事項について

(会 長) 事務局より説明をお願いします

(事務局・管理係長) 第 6 次の計画が令和 6 年度で終わりましたので、今年度は計画の取りまとめの評価をする年になります。第 6 次計画の評価は夏ごろから開始させて頂く予定ですが、それ以外の会議の協議事項については今のところ事務局では決め込んでおりません。第 7 次計画の答申の策定にあたり、皆様より課題提起、ご提案等を頂いております。大きなところでは、新たに追加した地域人材・地域課題やデジタル化というテーマがあります。こうしたテーマを、計画の答申のご審議の中で議論して頂いておりましたが、1 つの議題としてご審議いただくのはいかがでしょうか。計画の評価もあるので、年 7 回の審議会のうち協議できるのは何回かになるかと思いますが、議論が足りなかったと思うところをあげていただきまして協議事項に入れ込んでいければと思いますので、ご提案よろしく願いいたします。

(会 長) ありがとうございます。今年度は教育委員会や教育長から諮問がきているわけでもないで、第 6 次の計画の評価以外の協議事項については私たちが決められるということです。第 6 次の計画から第 7 次の計画に切り替わるタイミングということもありますので、できればテーマを決めて議論するのがいいかなと思います。例えば、今回の計画で新たに追加された「デジタル化の推進による学びの多様な展開」について、もう少し具体的に詳細な中身などを議論したり、具体化に向けた方策や手立てを考えたり、実現化していくための調査や必要であれば誰かに聞いたりなどやり方はいくつかあると思います。どのやり方で、こういったテーマにするか、テーマについてどう検討していくかを今日は出し合い、次回から検討を始めていきたいと思っています。こういうテーマがいいのではないかな、あるいは事業を絞ってこの事業について検討した方が良いのではないかなど意見がありましたらお願いいたします。計画の体系に沿っていくなら 15 ページ「施策の体系」の重点項目や施策の方法、具体的な取り組みのところのピックアップかなと思います。

(D 委員) 学校コーディネーターをしており、立川は遅れていてなかなか成果が見えてこないなと感じています。学社一体の理念の具体化や問題点などを洗い出してみても、何をどうすればもう少し前進できるのかを話し合えればと思います。

(会 長) ありがとうございます。計画の 15 ページでいうとⅢ-2 の「学者一体の推進」のところですかね。その他いかがでしょうか。

(B 委員) 11 ページの「立川市が今後力を入れるべきことについて」のところがまさに市民が求めているところなのかなと思います。情報が伝わりきれていないという実状がグラフから読み取れます。以前、市民リーダーに関するアンケートか何かで市民リーダーの制度や市民交流大学の認知度が異様に低いという結果が

あったと思うのですが、そのような点についてどんな課題があるか立ち返って議論する必要があると感じます。

(会 長) 計画の 15 ページのⅡ-1-1「様々な媒体の活用による情報発信と広報」が重点項目の「デジタル化の推進」のところですかね。アンケート結果をみるとオンデマンドやオンラインでの講座提供や講座をインターネットで予約できるようにするべきという意見も多いですね。

(副会長) 19 ページの「デジタル化の推進による学びの多様な展開」について、今実際に行っているリモート講座の例を出し合ってみて問題点等を話し合うと進歩につながるのではないかと感じます。

(会 長) 昨年度、いくつかの学習館でオンライン講座を行ったと伺っているのでその成果と課題をここで共有していただくのも良いですね。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

(E 委員) 18 ページの「学校が“使いたくなる” 地域学習館」というところが少し気になります。もう少し学校と地域学習館が連携を取れるのではないかなと思います。

(会 長) 学社一体の中にも入っていますが、地域学習館と学校の連携といいますか、学校にもっと魅力を感じてもらう地域学習館といいますか…。他にいかがでしょうか。

(C 委員) コロナウイルスの影響かと思いますが、学校のチラシの電子化が進んでおり、地域の方が紙のチラシを持っていってもなかなか撒いてもらえないとの話がありました。自治会で防災のフェアのポスターを貼りたいと公園課に頼んだところ「ポスターを貼る場所はありません。」と言われてしまい、自治会の会員の家の前にプライベート掲示板のようなものを作り、貼ろうとの話になっています。この間も地域の人達がよもぎ餅をつくイベントがありましたが、その時も子供が呼べないとの話になりました。コロナが落ち着き、地域の方々が活動を再開しており、色々と企画はされていますが、人を集めたくても集める手段が電子化や立川の場合は掲示板のような掲示場所を探せず、地域情報の発信ができないとの話がいくつかの団体からあがっております。学校が保護者に対して使用しているシステムを社会教育関係団体や地域団体は使えないのかと話がありました。地域情報を住民に提供することが難しくなっていると色々なところで話を聞くため、何か方策があると良いかなと思います。生涯学習と学校が一体化して学社一体で子供たちに体験の機会を提供できるようなルートを検討して頂ければと思います。

(会 長) ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

(F 委員) 2 つあります。1 つはオンラインで行った講座の成果と人を集って行った講座の成果を調べてみるのも面白いのではないかなと思います。それによって電子情報だと数が多く、見落としているものがあるのではないかな、又、紙での情報発信の仕方はどうなのかなどデジタル化と併せて協議できたらと思います。もう 1 つは地域コーディネーターの方、市民リーダーの方、学習館で活動されている方に対する考え方を伝えていくとかこのように関わっていくとか議論が出来ることによって当事者になった時に情報がうまく伝わりやすくなるかなと思いました。

(会 長) ありがとうございます。共有する機会があると安心して活動に加われるかもし

れませんね。計画の15ページIV-1や重点項目のデジタル化に関わるお話ですね。

(G委員) 立川市が今後力を入れるべきことの一つに「講座参加者が交流したり、講座終了後も継続的な学習ができるよう、職員がサポートする」とありますが、仲間づくりは8人だったり、シルバーだったら10人だったり結構ハードルが高いと感じます。ハードルを高くしないとなかなか人が集まらないということもありますが、職員に何回かカバーしていただき、一回きりではなく、継続的な学習ができるようなチャンスを作っていただければと思います。ただ話をするだけでも仲間意識が強くなって立川市民も強くなっていくのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。この前卒業した大学院生がG委員と市民リーダーの方にインタビューさせていただき、市民リーダーをテーマに論文を仕上げていました。市民リーダーや市民講師をすることの意義の部分で、人に教えることを通して人と関わっているのだということを立川の取り組みから学んでまとめていました。

(H委員) 市全体的に活動している人間も参加する人間も高齢化しているため、将来世代にまず体験してもらい、良さを味わってもらって、自分たちが成り手になってもらえたらと思います。生協で仲間づくりの企画をしまして、そこで市内の子育て世代、赤ちゃんを連れての方からこんな楽しいところがあるのだと言われました。体験されると活動に赤ちゃんを連れできてもいいんだ、子供も見てもらえるんだという気づきがあったようで他の活動にも参加したいとのご意見を市内に住んでいる夫婦からいただきました。やはりそういう体験が今非常に希薄になっていて、私が子育てをしていたときに市でお世話になっていたようなことがコロナで断ち切れてしまったと思います。時代が進んでいますので今から若手を育てないといけないと感じています。自分が市にお世話になった際、親子共々楽しめ、親も学ばせていただいたため、若い世代にも同じ経験をしてもらいたいと感じます。若い世代が今実際に何を求めているのか一度聞いてみたいなと思います。

(会長) ありがとうございます。これから担い手になっていただけるであろう世代に話を聞けたらということですね。

(B委員) 計画の中に「学校教育関係者と社会教育関係者の交流」「各種団体との交流による地域課題の把握」との話がありますが、実際、学校の現場で保護者も含めてどのように変化しているのか、実態の調査とそれに対してどのようなアクションが取れるのか、計画の取組事項であがっている活動を実現するためにも課題解決について考えないといけないと思います。各学習館や職員さんの力では解決できないことも多いのではないかと思います。ここで議論できればと思います。

(会長) ありがとうございます。

(G委員) 先ほど話にもありましたが、会長の学生さんに市民リーダーのことを取材していただき、「どうしてそれがダメなの。」「よくわからない。」と学生さんの純粋な目線で意見をいただきました。メンバーは年配の方が多いため、また違う目線で意見をもらい、本当に良い経験をさせていただきました。もう一つ、学校コーデ

ィネーターをやりたいと思っても、一本釣りであることが多く、そのあたりの雰囲気を変えていただけるとありがたいです。3 月にご縁があり、中学校でボランティアで講座を行った際、先生に何かお手伝いすることがあれば言ってくださいと伝えましたが、深く関わっているわけではなく、どこかで接点があったらもっと親しくなれるのにもったいないなと思います。何が必要なのかもわからないし、ただ手伝いたいなと思っても方法が全くわからず、ご縁をどこかで作りたいと感じました。

（会 長）学校支援ボランティア、市民リーダーの仕組みも立川はかなり充実しているのに実際には顔がわかっている人、相手がわかっている関係でお願いしたりされたりしているため、そのご縁を作る機会がもう少し豊かになるとマッチングがうまくいくのではないかといいことですね。ありがとうございます。

なんとなく、学社一体の部分と、情報発信広報デジタルの部分と地域人材担い手の育成支援の 3 つの課題ができました。

（I 委員）学社一体を進めようと思った時に、地域学校コーディネーターの役割というのは私たちは十分に意義のある活動をしてくれる方だと捉えています、実際にはコーディネーターの会議の議事録を読ませていただくと学校あるいは教員が地域学校コーディネーターの存在や意義を把握していないということが浮き彫りになっていると感じます。学校を地域が支えるという大きな柱について具体的に話を進めていかなければならないのではと思います。私たちは学期 1 回ずつ西砂学習館で地域学校コーディネーターと自運協のメンバーで地域がいかにして学校を支えるかと情報交換会をしています。顔見知りの関係はできているが、学校コーディネーターをうまく使いきれていないと思うので、いかにして距離を縮めて学校を支えていくかその部分を今後考えていきたいと思っています。それから「きらり・たちかわ」を知らない人が 50% 強いるという話を聞くと悲しくなってしまうのですが、これが実態なので、知らしめていくにはどうしたら良いのか考えていきたいです。

（会 長）ありがとうございます。

審議会は今年度残り 6 回なので、3 つのテーマを 2 回ずつやるのはいかがでしょうか。デジタルの話をするときには実際にホームページを見たり、担当の職員さんに来てもらい、話を聞いても良いかもしれませんね。地域学校コーディネーターの交流会ででた議論を紹介してもらったり、資料を共有してもらうのも良いかもしれませんね。

（D 委員）学校教育の担当である指導課に地域学校コーディネーターについてどう考えているのか認識や思いを聞かせていただきたいと思っています。

（I 委員）1 月 23 日（木）に行われた地域学校共同本部連絡会の報告を受けて、地域学校コーディネーターの意義等が周知されていないと知り、ショックを受けてしまいました。そのあたりの連携がとれると良いかなと思います。

（会 長）学社一体、情報発信広報デジタル化、地域人材担い手の育成支援の 3 テーマの課題だったり具体的な提案だったりを話し合えればと思います。

（事務局・管理係長）テーマに関係する方に直接来てもらった方が話も進みますし、実現

に繋がると良いなと思いますので、関係者と調整し順番を決めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(会 長) ありがとうございます。第7次生涯学習推進計画を具体的に進行していけるようにこの会議でも並行して議論していければと思います。

## 5. その他

(1) 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 4月19日(土)に行われた定期総会の内容になります。内容としては、令和6年度の決算、令和7年度の予算、令和7年度の事業計画、令和7年度の役員について話があり、すべての議案に対して承認となっております。今年度立川市は会計監査の担当になっております。定期総会后、講演会がございまして、鶴川サイエンスラボの池田様よりお話がございました。

ご出席された方で、ご感想や内容について共有できることがあればご意見をと思いますので、よろしくお願いします。

(会 長) 何か感想ありますか。

(C委員) 池田さんは、社会教育を感情論ではなく、緻密に数的に数量を計算し、何年目に何をすると計画をたて、その通りに実施されていました。自分が立ち上げたサイエンスラボとは別に、もう一つサイエンスラボが必要だと思い、同じような考えの方を見つけ、町田市を二つに分け、理科教育の学校支援が可能になりそうだと話していました。理科の実験の結果報告を聞いているようで非常に楽しかったです。

(E委員) 私が一番気になったのは、学校との環境を作るのがとても大変とおっしゃっていた点です。町田市には理科教育のボランティア組織がなく、それを作り上げていく過程はとても大変なはずなのに池田さんからはわくわくしているのが伝わってきました。自分たちが何か考えるときに池田さんの考えが、参考になるのではないかと感じました。

(H委員) この講演が聞きたくて行きました。事業企画書の策定やマネジメントポリシーなどそれぞれに理路整然としていました。鈴木さんの定年後社会と接点を持ちながらどう生きていくか、学校教育と繋がりたいというポリシーが自分の考えと一致しており、嬉しく思いました。E委員がおっしゃたように鈴木さんからはわくわくがとても伝わってきました。学校教育における驚きや達成感、学びをきちんと分けてお話されており、本当にわかりやすかったです。それこそが学校教育と社会教育のつながり方なのだなと学ばせていただきました。もう一度聞きたいと思える本当に良い講演でした。

(E委員) 学校で何かやろうと思った時に、相談に乗ってくれた学校支援ボランティアの存在が大きかったと話しており、立川にもそのような組織があるなと思い、もう少し知りたいと感じました。

(会 長) 定年退職後の男性シニアの生涯学習社会参加の前半のライフヒストリーを具体事例として詳細に話していただき、おもしろかったです。学校との間を繋いでく

れる方の重要性や仲間と一緒に活動するというスタイルを発展していくと地域にとって素晴らしい展開になるだろうなと感じました。まず地域の活動に参加し、自分のやりたいことを見つけていくスタイルではなく、やりたいことがないから作っていくというスタイルの地域活動への参加の仕方もあるのだなと思いました。「人と違う」「これをやりたい」という強い思いをバックアップしたり、応援するという生涯学習支援、そうすることで地域人材や担い手として育っていく、それを継続するためには、今後もう少し仲間がいたり鈴木さんが支援する側に回っていくというプロセスがあるのかなと、参考になりました。

(H委員) 鈴木さんは「教員免許も持っていないので、学校に潜り込むのは難しかった。だけど最終的には学校の教育課程に即した内容を取り入れながらやっていった。」という点で学校にとってもメリットがすごく大きかったと感じます。学校ではなかなかしづらい実験を彼がやることで、理科教育に対して興味関心をひいたり子供たちも新たな目線で見ることができると思います。

(C委員) 町田市はサポーターの方々が社団法人をつくり活動していて、すごいなと感じました。

(会 長) ありがとうございます。

## (2) 令和7年(2025年)第1回立川市議会定例会報告

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・センター長) 2月から3月にかけて行われた議会です。第1回の日程は4ページを見ていただければと思います。2月21日に会派を代表して4人の議員から質問があり、教育関連の質問は2人の議員から受けております。3の一般質問に関しては2月21日から28日までで、16人の議員から質問がありました。教育関連については、6人の議員から質問をお受けしました。4の文教委員会に関しましては12ページに報告事項と所管事項質問が記載されております。5は予算特別委員会です。予算特別委員会は3月11日から17日までで、教育関連の質問も受けております。6は議案審議で2月18日、28日に条例改正、3月24日に補正予算の歳出ということで3ページをご覧くださいと思います。

5ページ以降は一般質問の内容でございます。以上です。

(会 長) ありがとうございます。何か質問ございますか。(なし)

その他、事務局、委員の皆様から連絡やご報告はございますでしょうか。(なし)  
それでは、第1回生涯学習推進審議会を閉会します。次回は6月25日(水)女性総合センターアイム5階の第2学習室で行います。ありがとうございました。